

带状疱疹と 予防について



愛知県がんセンター
感染制御部



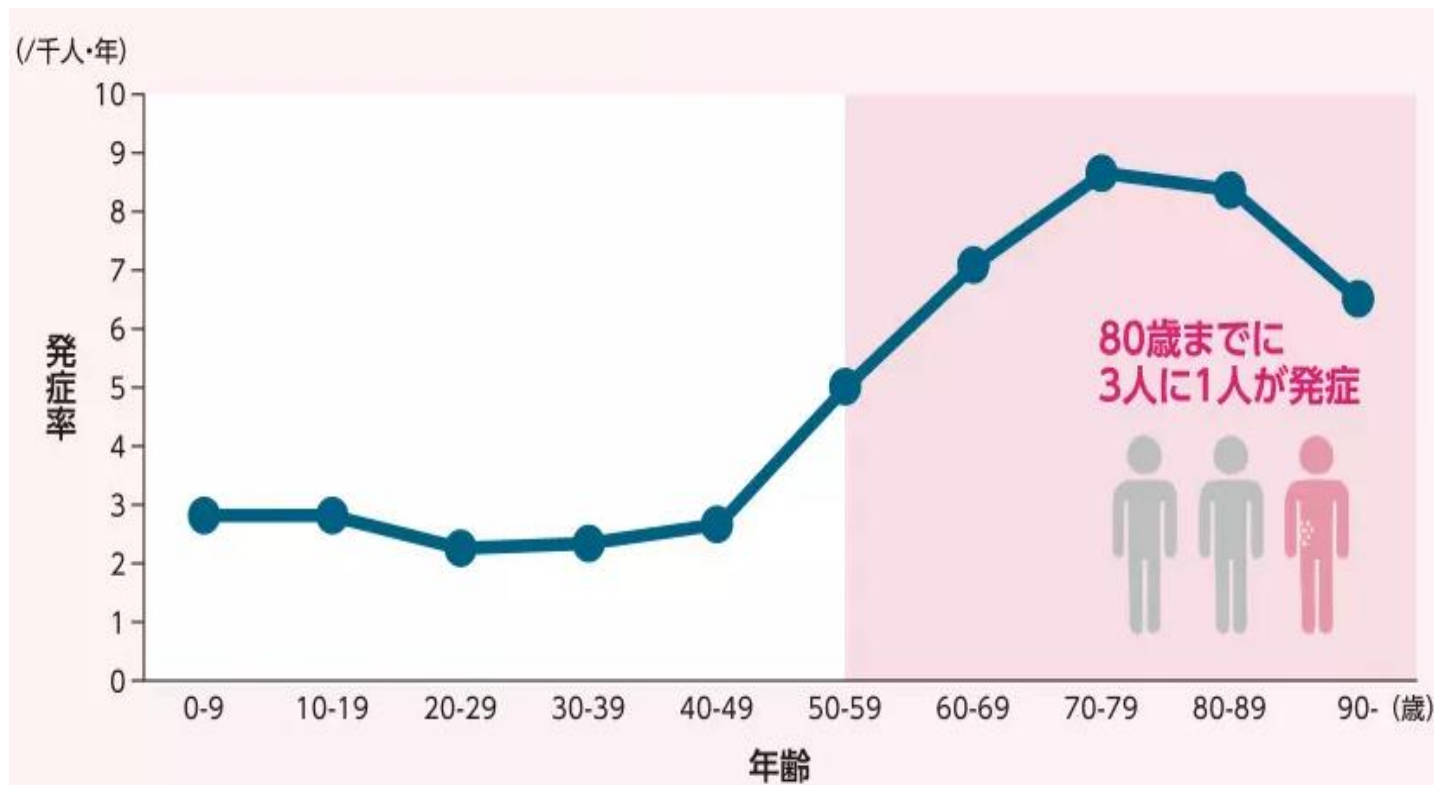
「带状疱疹」について

- 原因は、「水痘・带状疱疹ウイルス」
- 「水ぼうそう」にかかったことのある人は、誰でも「带状疱疹」になる可能性があります。
- 身体の中に潜んでいたウイルスが、加齢・疲労・ストレス・病後など、免疫力の低下時に活発化し、発症する症状です。



带状疱疹の「発症」について

50歳を過ぎると発症が増えて、
80歳までに約3人に1人が発症
するといわれています。



調査の対象と方法

2009～2015年に带状疱疹を発症し、宮崎県皮膚科医会に属する医療機関(皮膚科診療所36施設、総合病院の皮膚科7施設)を受診した患者34,877例の性別および年齢を調査した。

Shiraki K., Toyama N. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017より作図

帯状疱疹の「症状」について



- 一般的に**身体の片側のみに出現**することが特徴です。

【初期症状】 痛み(ピリピリ・ヒリヒリ)・灼熱感

【約1週間経過】 赤い斑点の上に水ぶくれが出現

【約2～3週間】 かさぶたになり、治癒する

【発症部位】 上半身が多いが、顔面や頭部などへの
発症も多く見られます。



「後遺症・合併症」について

- ・ 帯状疱疹を放置したり、治療が遅れた場合

◆視力低下 ◆失明 ◆難聴 ◆耳鳴り

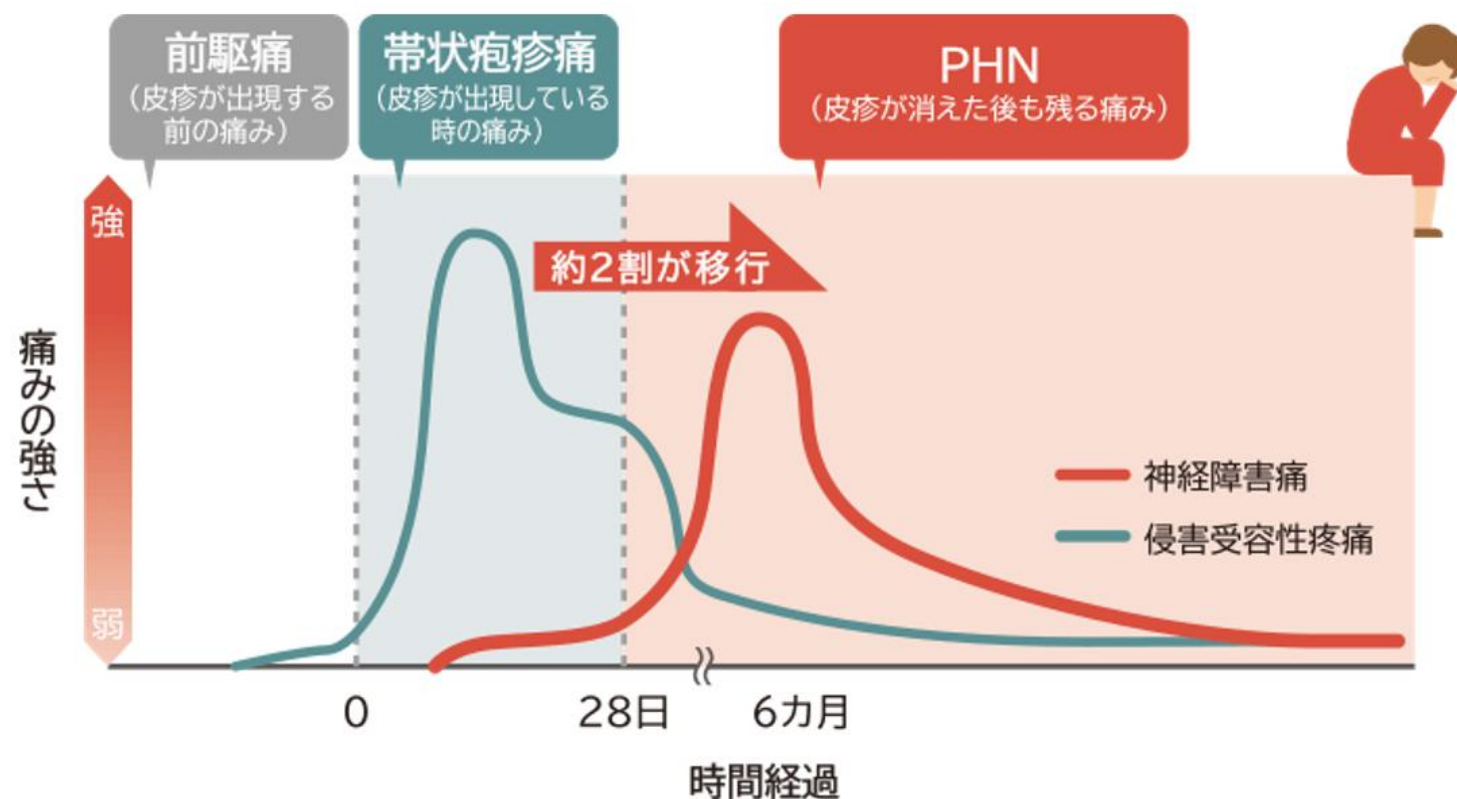
◆顔面神経麻痺 ◆めまい ◆頭痛 ◆発熱

◆帯状疱疹後神経痛(50歳以上の約2割に残る)

上記のような合併症・後遺症が発生する可能性があります。

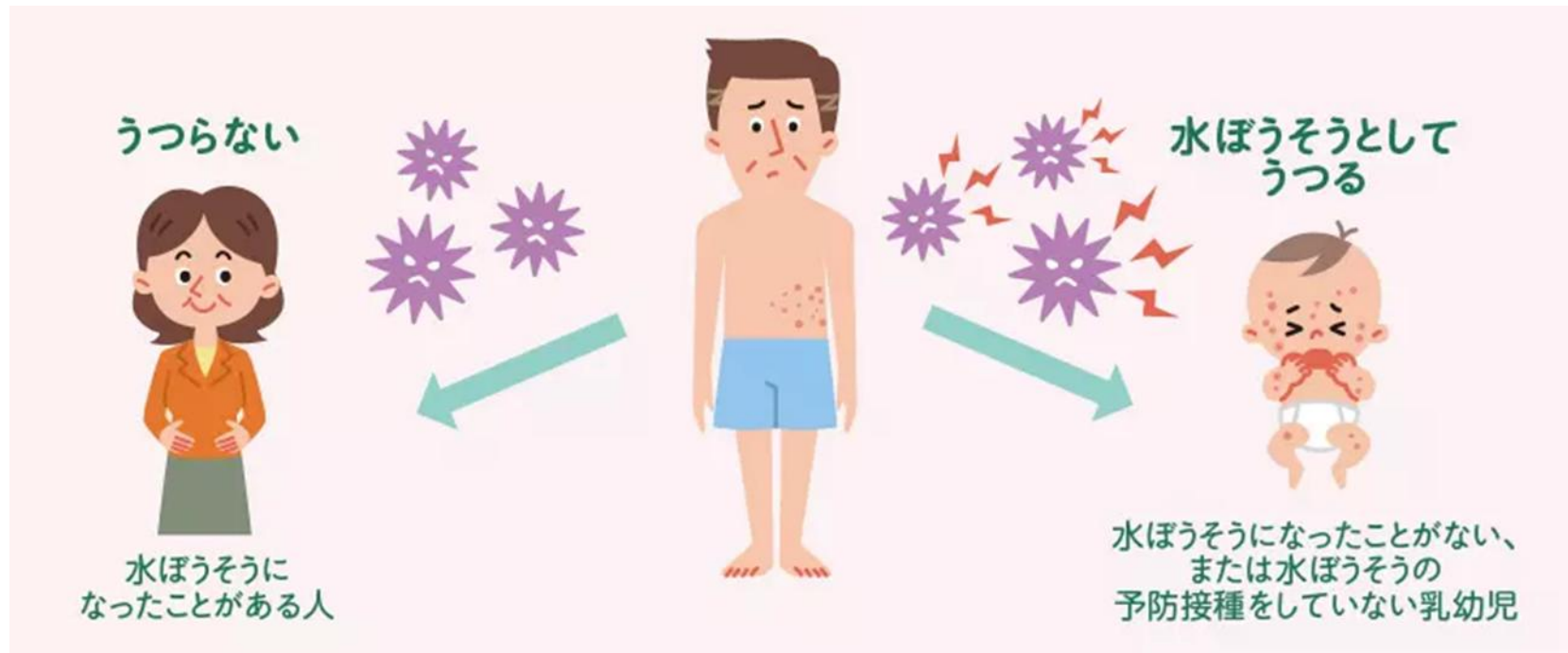
「带状疱疹後神経痛(PHN)」について

- 一般的に、皮膚症状とともに痛みはおさまるが、発症後3~6ヶ月以上、時には年単位で痛みが持続し、日常生活に影響が出ることもあります。

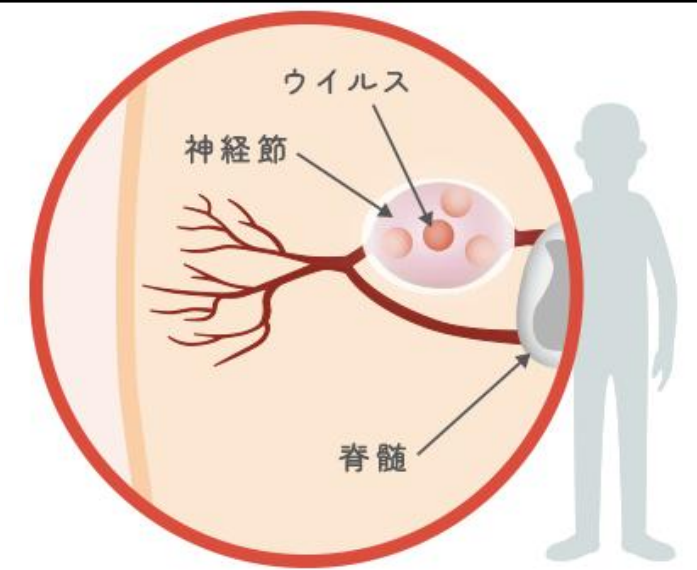


「带状疱疹と感染」について

- 一般的な带状疱疹は、他者に感染することはありません。
- 水ぼうそうにかかったことのない人や、抵抗力の低い人に、「水ぼうそう」として、うつる場合があります。



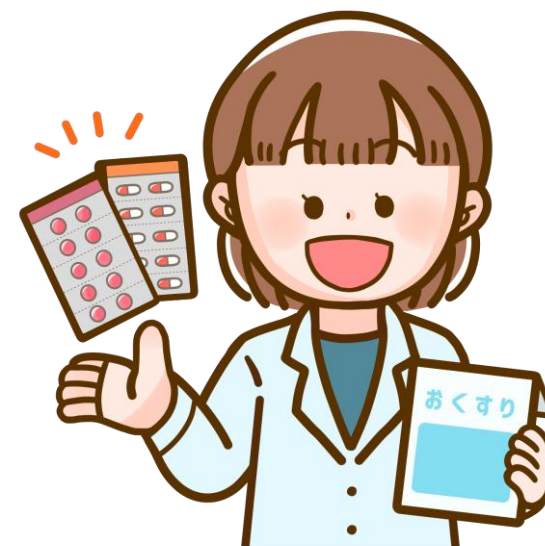
帯状疱疹の「再発」について



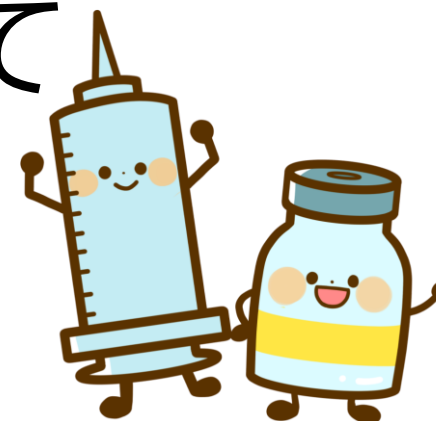
- 帯状疱疹は「再発」する可能性があります。
- 再発の際は、初めて発症した部位と異なることが多いですが、同じ部位に出現することもあります。
- 免疫機能が正常な人が帯状疱疹を再発する割合は数%と言われています。また、1年以内の再発は極めてまれと言われています。

帯状疱疹の「治療」について

- 抗ウイルス薬(ウイルスの増殖を抑える)を使用した治療が行われます。
- 必要に応じ、鎮痛薬(痛みの管理)が併用されます。



带状疱疹の「予防(ワクチン)」について



【接種対象者】

- 50歳以上の方
- 带状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方^{注)}

注)医師が、ワクチン接種を必要と認めた方

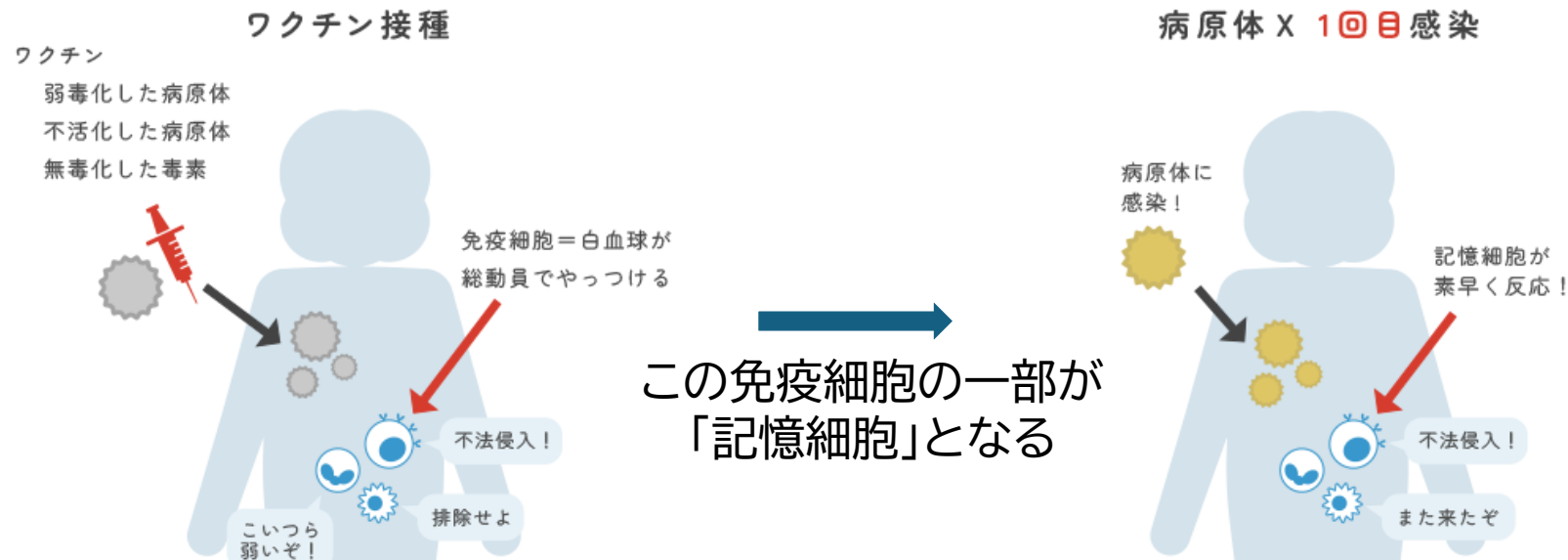
【ワクチンの種類】

- 不活化ワクチン: 病原性をなくした細菌やウイルスの一部を成分としたワクチン
- 生ワクチン: 病原性を弱めた細菌やウイルスそのものを成分としたワクチン

ワクチンの「仕組み」について

【ワクチン】

- 病原体の病原性を弱めたりなくしたり、無毒化したものが含まれています。
- 体内に入ると感染症の発症、あるいは重症化を予防することができます。



「ワクチンの効果」について

- 带状疱疹ワクチンを接種することにより、以下の効果が期待できるといわれています。

項目	不活化ワクチン	弱毒生ワクチン
発症予防効果	95%以上	約50%
神経痛予防効果	90%	70%
70歳以上での効果	89%	18%
効果持続期間	10年以上	5年程度

ワクチン接種の「制度」について



「任意接種」 2016年3月から

50歳以上で、医師と相談の上接種が推奨されると判断された方

「定期接種」 2025年4月から

- ① 65歳の方
- ② 60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有するとして、厚生労働省令で定める方
- ③ 70,75,80,85,90,95,100歳になる方(経過措置)

* 65歳以上の方が定期接種で带状疱疹ワクチンを受ける機会は、該当する年齢となる年度の1年間のみとなります。

がんセンターでの「ワクチン接種」

「採用薬」

不活化ワクチン(GSK:シングリックスワクチン)

* 2か月以上の間隔で、2回の接種が必要

「接種対象者」

がんセンターに通院または、入院中の患者さん

「任意接種」、「定期接種」どちらも可能です

「接種希望(予約)」

医師にご相談ください



がんセンターでの「ワクチン接種」

「助成制度」の対応について

名古屋市内に住民票があるかた

- ・特別な手続きは不要です。
- ・接種当日に、会計で実費精算が必要となります。

名古屋市内に住民票がないかた

- ・接種予約前に、住民票登録地の役所に、助成制度について、ご自身で確認してください。
- ・接種当日に会計で実費精算が必要となります。

＊助成に必要な書類などの発行を受け、接種日に持参してください。

＊「定期接種対象の方」は、役所からの通知(接種券など)を持参してください。

感染制御部の活動

感染対策チーム(ICT)

感染症の
発生・拡大防止活動を
行っています。



抗菌薬適正使用支援
チーム(AST)

抗菌薬(抗生物質)が
適切に使用されるよう
活動しています。

